

重要伝統的建造物群保存地区のまちづくり

藤賀 雅人 建築学部 まちづくり学科 准教授 / 小林 直弘 総合研究所 客員研究員

キーワード:重要伝統的建造物群保存地区、保存再生、地域再生、修理修景、防災計画、まちづくり

概要

重要伝統建築物保存地区である長野県千曲市稲荷山地区の修理修景基準、防災計画、空き家活用計画策定に向けたまちづくり活動。藤賀研究室では地区内のまち並み保存・地域活性化のために、連続的にワークショップを開催し、住民主体のまちづくり活動を支援している。

2022年度は、活動・整備方針を示す『まちづくり骨子』の作成を進めた。

アピールポイント

地区の全体像を把握し、整備・活動方針を整理するための1/300の地区模型、修理修景基準の理解を深めるための1/30建物模型を作成した。これに加えて、ワークショップを実施し、地域内の団体間連携、修理修景基準、空き家・空き店舗の利用方法について検討した。こうした議論を元にまちづくり骨子を策定し、2023年度以降は地区の整備、まちづくり活動の実践を進める予定としている。

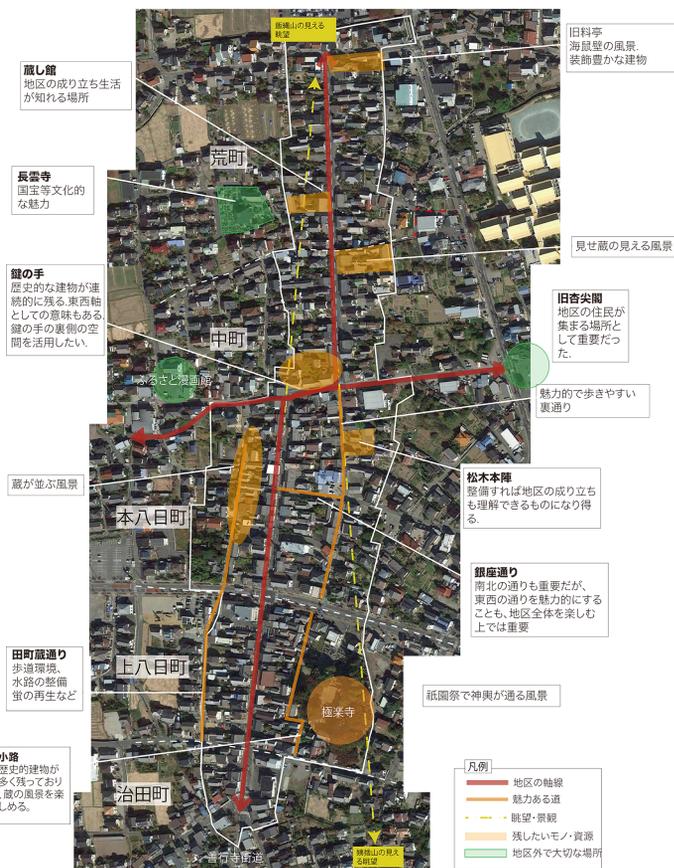
調査・実践



稲荷山地区の特定物件



1970年代の稲荷山地区の風景



ワークショップで共有された地区の魅力

重要伝統的建造物群保存地区のまちづくり

藤賀 雅人 建築学部 まちづくり学科 准教授 / 小林 直弘 総合研究所 客員研究員

キーワード:重要伝統的建造物群保存地区、保存再生、地域再生、修理修景、防災計画、まちづくり

調査・実践 2022年度 千曲市・地区住民と3回のワークショップを実施。



地区模型を囲んだ議論



ワークショップ風景



特定物件の現況調査



建築模型を用いた特性把握

千曲市稲荷山地区伝統的建造物群保存地区「稲荷山」の重要伝統的建造物群保存地区ですが、空き家や空き店舗が増え、建物は少なくなっています。今後はワークショップなどを通じて、これまで以上に地域を活性化させるための取り組みを進め、地区の「空き」の活用方法について考えたいと思います。

参加者募集!! 稲荷山の「空き」を大学生と考えるワークショップ

- 期 令和5年 3月 12日 日 13:30-15:00
- 会場 稲荷山公民館 2階講堂
- テーマ
 - まちづくりデザイン案の意見交換。
 - 空き家の利用を考える
 - 空き家・空き店舗の活用方法を考える
 - 住居跡の取り壊しを考える
- 参加費 申し込み不要です。

主催 千曲市教育委員会 026-261-3210
工学院大学建築学部まちづくり学科

WSチラシ



修理事業の実施風景



稲荷山地区の特徴的な建物(断面図)

関連情報

● 関連 URL 文化庁 千曲市稲荷山(長野県)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/pdf/r1392257_036.pdf